



令和6年9月27日

東桂CS通信



東桂小校長 清水 浩喜
東桂中校長 三枝 幸一

～校長が思い描く、東桂小中学校コミュニティ・スクール～



東桂小学校 校長
清水 浩喜

1

◆ CS を導入しようと思った理由

—未来の東桂地域の可能性を広げていけるのではないか。

東桂地域は15年間の子供時代を過ごすことができる地域です。東桂だからできる教育の可能性を強く感じています。全国で拡がる少子化、過疎化の速度は増しています。この地域もその対応が必要です。子供たちを中心としたCSの実現が、未来の東桂地域の可能性を広げていくのではと思います。ちょっと壮大だけれど、そうした夢を地域の皆さんと共有できれば、何か素敵なことができるんじゃないかなと思っています。



2

◆ 子供たちに期待すること

—本物の体験をしてほしい。

見て、触って、感じて、体験して、その地域の人とも関わって、つながって。バーチャルではなくて本物の体験、経験として。子供たちが豊かな活動、体験をすることによって、学校も地域も、そして子供たちも生き生きとするのではないかと思っています。東桂はすでに



いろんな団体がとても活発に活動されています。その活動に「子供中心に」という視点をより加えられたならば、先ほどの未来の東桂の魅力、可能性につながるのではないかと考えています。

◆ 地域の方々へメッセージ

地域の皆さんに、この地域の魅力を、子供たちに伝えたり、語ってもらったりして、一緒に本物の体験を作っていくってもらえたたらと思っています。「地域に出て学ぶ、地域を書いて学ぶ」。そこに何か大きな大変さを感じている現実があります。しかし、実際に地域に出てみるとたくさんの発見があり、つながりが生まれたり。それが「大変さ」じゃなくて「豊かさ」だと。時間はかかるかもしれないけれど「チーム東桂」になって、みんなで同じ方向を向いて、少しずつ、10年、20年、30年と、こうした目標に向かって、子供を中心に学校と地域がつながっていくことが一つの大きな夢で、先生や地域の皆さんの夢でもあってほしい、夢になってほしいと思います。

4

◆ 私が地域から得たもの

—地域で学んだことが原風景として残っている。

幼少期は同学年だけではなく、お兄ちゃん世代、下の子供とも、みんなで群れて遊びていました。川遊びをしたり神社で遊んだり。そこから学んだものが、原風景として大人になった今でも残っています。それらの完全復活は難しいかもしれないけれど、学校教育と地域のつながりを通して、子供たちが本物のそうした体験を積むことで、この地域の魅力が原風景として子供たちの心に残っていってほしい。それが大人になったときに、「あそこに僕の居場所があったな」とか「あの場所で何かをしてみたいな」、そうした思いが残るような地域、学校教育をできたら素敵だなと思っています。



1

◆ CS を導入しようと思った理由

—この地域の昔ながらの良さを活性化させていく必要がある。

学校だけが子供を育てる場であるというように大人や社会の意識が流れていますが、子供は地域社会の存続、地域社会づくり、地方創生・地方活性化や地域の一人一人の豊かな人生の創造にとって重要な存在です。地域全体で子供たちを育み、この地域の昔ながらの良い部分を活性化させていく必要があると思っています。

東桂中学校 校長
三枝 幸一

2

◆ 子供たちに期待すること

—”今生きている”原因を 考えられる心を 養ってもらいたいです。

「恩」は、原因の「因」に「心」と書く。それは、今自分が生きていられることの原因を考えられる心の働きのことなのだと、子供たちに伝えています。その他者から受ける「恩」に、「恩返し」する生き方ができ、人間の質・品性を向上させていくことを常に心の中に持てるように育つってほしい。その種を学校でも蒔き、地域の方々にも蒔いていってもらえたたらと思っています。そして、自他の人生を豊かに、平和に、幸せにする力を身に付けていってほしいです。

◆ 地域の方々へメッセージ

4

東桂の子供たちの育ちを、学校とともにみなさんと共有し、認識し、理解していきたいと思っています。それに基づいて、地域社会のそれぞれの組織や人々が子供たちとの関係性の中で触れ合ったり様々な体験を一緒にしたりして、子供たちが育っていく未来を創造できたらと思います。

コミュニティ・スクール(CS)とは、学校・保護者・地域住民で構成する「学校運営協議会」を設置した学校のことで、「地域とともにある学校づくり」の実現に向け、学校教育目標やそれぞれの課題、地域資源等を共有し合い、学校・地域が一体となって、特色ある学校づくりや子供の学びや成長を支えていく仕組みです。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(第47条の5)が平成16年の改正によって制度化され、令和5年5月時点で全国の小・中・義務教育学校の58.3%が導入に至っています。

◆ 私と地域の関わり

ふるさとと母校に教師として初めて

勤務し、東桂地域の、他地域とは異なる良さを感じています。子供たちや学校を見守ってくださる東桂地域と人々の温かさ、地域の人々のつながりなど。自分のふるさとでの思い出を振り返ると同時に、現在の東桂中の生徒たちを育てていくための学校教育の在り方について、人々との関わりから考え、検討するようにしています。



第2回学校運営協議会設置推進委員会、開催決定！

日時：令和6年10月18日（金）
18:00～19:30

主な内容：
熟議 ほか

場所：東桂地域コミュニティセンター
対象：地域開放型のため参加自由

ぜひ、
ご参加
ください！

問い合わせ先

- 都留市立東桂小学校 0554-43-2466 校長 清水 浩喜
- 都留市立東桂中学校 0554-43-2421 校長 三枝 幸一